

# 「初めてA P A A理事会に参加して感じたこと」

弁理士法人 前川知的財産事務所 **前川直輝**

この度、2023年11月3日から7日にかけてシンガポールで開催されたA P A A理事会に初めて参加しました。正直なところ、国際会議に参加するのはこれが初めてだったので、役員でもなんでもないのですが、かなり緊張していました。しかし、この経験は私の弁理士としてのキャリアにおいて、大きな一歩であったと感じています。ここで私の初めてのA P A A体験について記したいと

思います。

今回シンガポールという国に行くことも初めてでした。会期中滞在したのはリトル・インディアにあるホテルでしたが、ホテル前の通りが異常にライトアップされていることに驚きました(写真1参照)。それはたまたまその時期にヒンドゥー教における新年を迎えるディーパバリという祭典のためのものであることを後で知りました。

またA P A A名物と聞き及んでいたエクスカ

ーションは、初めてということで無難に市内観光バスツアーを選択したのですが、最初チャイナタウンの中国寺院を観た後、その足ですぐ近くのインド寺院に寄り、バスで少し行ってサンタンモスクを観て、複数の宗教が小さな範囲に共存していることを実感しました。

そして、シンガポールの人もご存じの通り多民族であり、バスツアーのA P A A参加者も多国籍であり、普段日本人としか付き合っていない自分には異世界にいるような不思議な気分でした。ちなみにこのツアーで打ち解けた台湾の弁理士とは、後に仕事を依頼することにもなり、エクスカーションの良さを知ることができました。

一方で、A P A Aの会合はシンガポールを象徴するマリーナベイサンズ横のサンズエキスポで行われ、そこからは近代的なビル群が並ぶ景色



写真1



写真2

が広がっており（写真2参照）、伝統と革新が融合している国であることを感じました。

肝心のA P A Aに参加したことによる成果としては、アジアだけでなく、メキシコ、ドイツ等の弁理士と交流を持つことができました。そして、オープニングパーティーやガラパーティーでは、日本の友人弁理士のおかげもあって、さらに色々な人と知り合うことができました。

ただ、最初の海外事務所とのアポイントで相手が遅刻してきたのには焦りました。こういう場での待ち合わせも初めてだったので、自分の待ち合わせ場所が間違っているのかと思い、会場をうろうろしましたが、それらしき人は見えず……。相手の携帯番号は聞いていたのですが、自分から外国人に電話をかけることも初めてでめちゃくちゃ緊張しながら電話をかけて、無事繋がり、拙い英語力で向こうが遅刻していることを理解し、結果20分以上遅れてですが何とか会うことができ

ました。しかし、そのようなトラブルに最初に遭遇したことで、逆に気持ちがほぐれたのか、以降のアポイントは割りと気持ち穏やかに進められました。

思えば中学生の頃から英語が大の苦手で、英会話なんてほとんどできない状態で、事務所の所長という立場ゆえに勇気をもって参加してみたのですが、そのような自分でも世界各国の弁理士たちと交流を持てたというのは、A P A Aが持つ良い雰囲気のおかげだったように思います。

弁理士という職業は、普段から普通に業務として海外とのやりとりがあり、このような国際会議にも希望すれば参加することもでき、海外の同じ職業の人間と自然に交流を持っているというのは、意外と他の士業にはない弁理士ならではの良い特徴だと感じました。

このように初めてのA P A A理事会の経験を通し、改めて弁理士の良さを知ることができまし

た。今後も弁理士の良さを活かして、可能な限りこれからのA P A A理事会にも参加していきたいと思っています。

#### 後日談

日本に帰ってきて、A P A A日本部会の忘年会に参加させてもらったのですが、その席で、ベテランの先生方にオフィシャルソーシャルイベントに参加したのかと聞かれました。私は、てっきりそれは選ばれた人しか参加できないものだと思っ

ていて一つも参加していませんでした。そのことを伝えると、実はそれは誰でも参加できるものであり、しかもA P A Aを楽しむ上で重要なものであったことを知らされ、A P A Aの奥深さを思い知らされました。次回はオフィシャルソーシャルイベントにも参加し、A P A Aを楽しみ尽くそうと誓いました。

以上